



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部44円
題字 井戸 知事

火は見てる
あなたは離れる
その時を

兵庫県下初
姫路市消防団協力事業所表示証交付式を実施
姫路支部

平成二〇年二月六日、姫路市防災センターにおいて兵庫県下初となる消防団協力事業所表示証が三三事業所から交付されました。

姫路市（消防団：八団、定員三、八三八人）では、平成十九年九月に「姫路市消防団協力事業所表示制度実施要綱」を定め、この制度をスタートさせました。

市内の各事業所に制度の趣旨を説明し、賛同をいただき、消防団協力事業所として認定された事業所について、平成二〇年二月六日（水）に表示証を交付

しました。

表示証交付式には、大和姫路市消防局長、梶原支部長をはじめ、各消防団長、消防署長、新聞社やテレビ等の報道関係者などの臨席のもと、申請内容を審査し適合と認められた三三事業所の代表者が出席し、盛大に開催されました。

交付式は、まず大和局長の挨拶、姫路市側の出席者紹介のあと、大和局長から事業所の代表者一人ひとりに表示証及び表示証交付書を交付し、最後に、八



盛大に開催された表示証交付式



代表者一人ひとりへ表示証を交付

姫路市では、消防団員の被雇用者の占める割合が約八〇％であり、地域を守る防火防災のリーダーとして、市民の負託に応える活動していくためには、いわゆるサラリーマン団員を雇用する事業所の皆様の消防団活動への理解と協力が不可欠であり、また、地域の防災力強化の観点からも、事業所等から地域への防災力の提供という協力関係も不可欠であることから、姫路市消防団協力事業所表示制度をスタートさせたものです。

この制度を立ち上げたばかりですが、姫路市では「市民一人ひとりが主役の市政を基本に、



大和姫路市消防局長あいさつ



梶原支部長お礼の言葉

緊急交通路予告標識の設置について

大規模な災害が発生した場合には、被災地内への緊急通行車両などの通行や広域的な緊急輸送を円滑に進めるため、緊急自動車やあらかじめ登録された車両以外の通行を禁止又は制限する「緊急交通路」が指定されます。

この「緊急交通路」の指定を円滑に行うため、緊急交通路の予定路線として県内十八ルートを事前指定しています。

大災害時には、予告標識が設置されている路線への通行を控えていただき、早期の緊急交通路の確保に協力していただきますようお願いいたします。

緊急交通路 EMERGENCY ROAD
大災害時は一般車両通行禁止
兵庫県・兵庫県警察・国土交通省

災害発生時の交通規制にご協力を！

- 緊急交通路とは？
大規模災害が発生した場合、被災地域内への緊急通行車両などの通行や広域的な緊急輸送を円滑に進めるため、緊急自動車やあらかじめ登録された車両以外の通行を禁止、又は制限することができる道路をいいます。
- 緊急交通路確保のための通行禁止・制限が行われます！
大規模災害が発生した場合、交通の混雑や事故を防止し、災害応急対策が円滑に行われるように道路の区間又は一定地域について、災害応急対策に従事する車両以外の通行を禁止又は制限するなどの交通規制を行い、緊急交通路を確保します。
- 交通規制の方法は？
・ 緊急交通路の指定は、高速道路、自動車専用道路及びその他幹線道路を優先して行います。
・ 緊急交通路を確保するため、原則として被災地方面への車両の通行禁止又は制限を行います。
・ 交通規制を確実なものとするため、必要により交通検問所を設置します。
・ 緊急の場合は、現場警察官の指示により規制を行います。

現在・過去・未来の市民に責任を持った共生のまちづくり」の基本理念の下、「災害に強い安全で安心して暮らせる活力ある住みよい姫路のまちづくり」を目指し市政を推進しており、今後ともこの表示制度を広く普及していかねばならないと考えております。



地区通信

「初めての屋内実施、消防出初式」

篠山市消防団

平成二〇年篠山市消防出初式は、一月五日(土)、たんば田園交響ホールで開催という初めての屋内実施となりました。

そのきっかけは、平成十九年の消防出初式にありまして。当年は、一月七日の日曜日に篠山城跡三の丸広場で実施することとなっていました。



落ち着いた雰囲気の中実施された平成20年消防出初式



放水のみ屋外で実施



式典中ほぼ雪が降り続いた平成19年消防出初式

点で予備会場である屋内での実施を考えましたが、共同開催である市及び市消防本部と協議の結果、今後の天候の行方によって判断することとして、当初の予定どおり屋外で実施することにしました。

そのような中、屋外実施ということですので、入場行進のライン引きやテント設営などは、前日に準備することとなりましたが、天候は穏やかで準備することができ、運命の当日を迎えることとなりました。

出石は江戸時代、五万八千石の城下町として栄えた町で、中心部には出石城跡、辰鼓楼、家老屋敷などがあります。碁盤の目のような町並みなど、城下町の風情を色濃く残しており、「但馬の小京都」として全国から年間約九〇万人の観光客が訪れるほどの観光地となりました。

なかでも有名なのが、「出石そば」。出石そばは、宝永三年(一七〇六) 出石藩主松平氏と信州上田の仙石氏がお国替となり、その際仙石氏と共に信州からきたそば職人の技法が加えられ誕生したといわれています。

独特のコシと風味は「挽きたて、打ちたて、ゆがきたて」という昔ながらの三たての製法に由来しています。現在約四〇軒のそば屋がありますが「つゆ」「麺」にはその店のこだわりがあり、それぞれの店の「味」があります。お好みのお店を是非見つけてみてください。

出石の代表的なお祭りとして、「初午大祭」「出石お城まつり」

北から南から

「但馬の小京都、出石」

豊岡支部

当日は、九時から開始されることとなりました。準備のために人が集まり始めた七時ごろには雪は少し降っている程度でした。ところが、入場行進のために集合し始めた八時半ごろにはだんだん降雪は強くなり、式典の終了近くまで降り続いたのです。当年は、全国的に暖冬で、この冬一番の降雪時に消防出初式を実施したような形になりました。

た分団長以上の幹部会において「この時季は、毎年天候に悩まされる。最近の時流も考慮して屋内で消防出初式を実施することは検討できないか」という意見があり、その後消防団内部で検討し、平成二〇年から屋内で実施することになったのです。平成二〇年消防出初式は、天候を気にすることなく、穏やかに落ち着いた雰囲気で開催され、屋内で実施することで概ねよかったものと思っています。

などがあります。

春の到来を告げる「初午大祭」は毎年三月の第三王曜日を中心に前後三日間行われ、商売繁盛・五穀豊穡を願うお祭りです。三〇〇を超える露店が立ち並び、たくさんのお客さんで賑わいます。

また、毎年十一月三日に行われる「出石お城まつり」では、町内小中学生による、鼓笛パレードや、子ども大名行列、大人大名行列が町を練り歩きます。中でも一番の見物は大人大名行列槍振りです。独特の掛け声と絶妙の槍さばきは圧巻です。

このほか、但馬を切り開いたとされる「天日槍」を祀る「出石神社」、沢庵和尚が再興したといわれる「宗鏡寺」(通称沢庵寺)など、ここに紹介しきれない名所、まつりなどがたくさんあります。伝統と歴史の町「出石」には是非一度お越しください。お待ちしております。



出石のシンボル「辰鼓楼」



「出石お城まつり」大人大名行列槍振り



美しい白磁の出石焼きの小皿に盛り付ける「出石そば」

消 防 団 服

- 甲 種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
 - 乙 種 刺子・木綿
- ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

株式会社 三 浦 消 防

姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- 屈折梯子付消防ポンプ自動車
- 化学消防ポンプ自動車
- 水槽付消防ポンプ自動車
- 普通型消防ポンプ自動車
- 高発泡機付消防自動車
- 消防救助工作車
- 小型ポンプ積載車
- シバウラ小型動力消防ポンプ
- 各種消防用品
- 消防用ホース

株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海356の1
TEL (0857) 23-2211(代)
FAX (0857) 27-1766

初心を忘れず

多可町消防団長

梶間

信明



多可町消防団は、平成十七年十一月に中町・加美町・八千代

消防団今昔

43

町の三町が合併し誕生しました。面積一八五、一五五、人口約二五、〇〇〇人の管内を四八分団

でも最も大切であるとの考えから、入団してから最初の二週間

いと自信になり、私の消防精神の基本となったように思います。

多可町消防団は、平成二〇年度から現在の四八分団を十四分団六八部に改め、新しい体制で

「神戸市西消防団 伊川谷支団」

伊川谷支団長

丸山

修次



神戸市西区伊川谷町は明石川支流と伊川の流域の主要部を占め、神戸市の沿岸部のどの町よりも面積が広い地域です。

撰津の国の国境をなして、南部・北部は丘陵地帯として農地が占め、西部は明石市の中心地に続いているため市街地を形成する複雑多岐な地域です。

頃建立された本堂は、神戸市唯一の国宝建造物に指定されているほか、安土桃山時代の枯山水名園である安養院庭園は国の名勝に指定されています。

防団を含む西区七消防団が統合され神戸市西消防団と改称し、その構成支団として「神戸市西消防団伊川谷支団」として新たにスタートして二五周年を迎えようとしています。

「播州太山寺縁起」によれば、太山寺は元正天皇の勅願寺として七一六年に建てられた古いお寺で、建物、庭、美術品、古文書など古く貴重な品が多数残っており、国の重要文化財は仁王門、阿弥陀如来坐像など十八件を数え、なかでも、一三〇〇年

消防団については昭和二二年一月に、十七分団三〇八名からなる神戸市伊川谷消防団として発足、昭和五八年の一署一団制への組織改編により、伊川谷消

社コミュニティの方々とともに、地区の結束を更に強く図っていくことで、この史跡の地を後世まで引き継ぎ、未来へと開花していこうとしている伊川谷をより「安全・安心な町」として強固にしていくため、今後とも地道に地域活動を展開していく所存ですので、ご支援ご協力を賜るようお願いいたします。



2008 TOKUGA HAN-AI



『西宮名塩の防人! がんばっています!』

西宮市消防団名塩分団

木之元班

芝辻大輔



入団してからはや三年が経ちました。最初の頃はサイレン音に敏感に反応してしまい必要のないときに詰所まで行ったり、本当に行かなくてはならないサイレンなのに遅れてしまったりと失敗の数々。今でも諸先輩方から教えて頂くことが多く、

まだまだ勉強中といったところですが。入団のきっかけは、近所に住んでいる友人の誘いだったように記憶しております。普段は、残業の多いサラリーマンをして



活動風景

われら若手消防団員

〈5〉

「消防団に入団して」

上郡町消防団南分団

西本幸平



私は現在南分団三部で活動しています。入団のきっかけは、当時の分団長から「入団しないか」と勧められたことです。入団するにあたってとまどいもありましたが、いざ入団してみると先輩方も親切で、時には厳しく指導してくれるので一通りの事は覚えることができました。入団してから火災出動はまだありませんが、不測の事態に備えて、訓練をしていきたいと思っ

ています。また、消防団員としての誇りを持ち、誠実かつ秩序ある行動で、町民に対し親切・丁寧な接し、自分の役割に対しても責任をもって行動していきたいです。

団活動は、上郡町の活性化に大きく貢献できるものであります。今後も、あらゆる災害に対応できる精神力と技術力を養い、明るく住みよい街づくりに貢献していきたいと考えております。



上郡町出初式



一斉放水

地 区 通 信

「平成二〇年加古川市消防出初式」

加古川市消防団

平成二〇年の新春を迎え、決意を新たに市民・事業者・消防機関が互いに力を合せ『安全で安心して暮らせるまち・加古川』の実現をめざして、新春恒例の消防出初め式を挙

一月十三日に加古川市防災センター及び河川敷にて開催され、消防本部、消防団、自衛消防隊、婦人防火クラブ、少年消防クラブ、自主防災組織の合計六機関、約一、二〇〇名、車両三十一台が参加しました。

九時から加古川市防災センターにおいて第一部式典を行い、山本消防長の開式の辞、樽本加古川市長の式辞、永年にわたって消防業務に功績が顕著であった消防団員一〇四名、消防職員二名が表彰され、ご来賓の方々に祝辞をいただきました。



第一部式典



第二部観閲 分列行進



第三部演技 はしご登り



一斉放水

引き続き、場所を加古川河川敷に移した第二部では、消防職員の出旗隊を先頭に消防本部四小隊、消防団十九分団による威風堂々の分列行進を実施しました。

第三部では、市民・事業者・消防機関が一体となった演技が行なわれました。最初に、少年消防クラブのパレードの後、消防団六分団によるはしご乗りを実施し、はしご演技の度に会場から大きな拍手が沸き起こりました。その後、婦人防火クラブ員による初期消火訓練、自主防災組織による消火訓練が実施され、続いて中央消防署・東消防署・消防団・東播磨地区石油コンビナート企業(株式会社神戸製鋼所加古川製鉄所・関西熱化学株式会社加古川工場)による車両入場行進(ポンプ車二六台、

はしご車二台、大型化学高所放水車二台)が行なわれ、その後、消防職員によるアトラクションが実施され、最後に総数三〇〇台による一斉放水が行なわれ加古川市消防出初式は終了しました。

式典・観閲式のみのお初め式から、現在の演技を加えた形のお初め式に変更後は、年々見学者が増え、さらに立派なお初め式が開催できるよう、日頃の訓練を充実させたいと思っています。

わがまちの団長さん

148

『団長はエネルギーシユな行動派』

岸本 重男 団長



芦屋市は県南東部に位置し、南に大阪湾を臨み、北には緑豊かな六甲の山々が連なる四季の彩りに包まれた住宅都市として発展してきました。本市消防団は、昭和二十二年九月消防団令の公布により警防団組織を解消し、消防組織法により、消防団の設置及び組織に関する規定が明文化され、地域に密着した消防機関として、一本団、四分団、一、二三人、消防ポンプ自動車四台で発足となりました。

岸本団長は、昭和五十七年九月に入団され、平成十三年に分団長、平成十七年から副団長、昨年の一〇月に、第八代芦屋市消防団長に就任され、安全で安心して暮らせる街づくりを目指し活躍されています。ご職業は不動産業で、大変お忙しい中、消防団活動をはじめ、地域の自主防災組織が実施する防災訓練や、各種イベントにも積極的に参加され、また、昭和六〇年四月から少年補導員、少年指導委員などを歴任されており、青少年への健全育成の啓発・推進にも積極的に取り組まれ、地域社会に多大な貢献をされています。 団長は、平成七年一月に発生

編集後記

立春とはいいながら、まだまだ寒さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今月号は県下初となります消防団協力事業所表示証の交付について姫路支部より寄稿いただきましたので、一面にて掲載しております。また、消防団今昔には多可町消防団長梶間信明さん、神戸市西消防団伊川谷支団長丸山修次さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

兵庫消防では、随時皆様からの寄稿をお待ちしています。

【お詫びと訂正】

「兵庫消防」平成二〇年一月十五日発行第五九七号の兵庫消防協会からの新春ご挨拶において、淡路地区副会長の氏名を誤って掲載しておりました。深くお詫びしますとともに、次のおり訂正いたします。

正 副会長 真野 和典(誤) 米山 昇

世界へ羽ばたく! GMの消防自動車



大槻ポンプ工業株式会社

●本社・営業本部 〒623-0021 京都府綾部市本町7丁目67-2 TEL (0773) 42-0681(代) FAX (0773) 42-9229

- ・操法最適ホース : コンベVシリーズ
・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
・消防ポンプ自動車(モリタ)
・消防用資機材全般



西垣消防器具製作所 669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461 TEL:(079)672-3131 FAX:(079)672-3132 E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



「こんにちは!兵庫の消防団です」



http://www.hyogoshoubou.jp/